

平成29年度パテントコンテスト／デザインパテントコンテスト  
文部科学省科学技術・学術政策局長賞 受賞校

学 校 名	取 組
徳島大学	<p>以下のような取組を弁理士等外部人材も活用しながら実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理工学部において、知的所有を含めた教育（ニュービジネス概論）を必修としている。知財法制やベンチャー経営、企業会計等について必要な基礎知識を学ぶカリキュラムとなっている。</li> <li>・パテント・デザインコンテストの活用と連動した科目（アイデアデザイン創造）を設け、特許出願に係る着眼点について実践的に学ぶ場となっている。その結果として、受講希望者も200名以上と、学生の知財に対する関心も高まっている。</li> <li>・知財検定についても取得を推奨している。</li> </ul>
沼津工業高等専門学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学的な教育活動として、日本弁理士会の協力を得て、特許制度や特許の意義はもとより、出願手続きや紛争解決に向けた学習機会を設定。</li> <li>・少人数の研究活動として、PBL方式により地域産業を素材に、商品開発等に資するアイデアの創造・活用の涵養を図る取組を実施。</li> <li>・知財検定の取得も推奨。</li> </ul>
一関工業高等専門学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的財産・創造性教育の取組として、先進的な学校の協力を得てパテントコンテストを参考にした実践的な知財教育を全学的に実施。具体的には、商品化に向けた事例学習、エンジニアリング教育におけるパテコンの活用等を通じた教育を実施。</li> <li>・知財検定の取得も推奨。</li> </ul>
兵庫県立西脇工業高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的財産に関する学習を深めるため、弁理士、大学教員等外部人材と連携しながら、実習、課題研究等の機会を効果的に活用し、商品開発や特許出願等に係る実践的学習を実施。</li> <li>・自主的な教育活動が全学的に展開され、本コンテストへの応募を活発に行い、校内でのコンテストも実施。</li> </ul>
沖縄県立沖縄工業高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的財産制度や特許の意義、出願手続き等について、学校独自のテキストを活用して、生徒にわかりやすく教育するきめ細かい取組を実施。</li> <li>・沖縄県産業教育フェア等を活用して、知財学習の成果発表を積極的に行い、試作品や出願した特許等の紹介を行うなど、生徒による自主的な取組を発表する機会を設け、地域との連携も深めた。</li> </ul>